

医工連携プロジェクト体制整う

さがみはら産業創造センター

犬用の体内補助器具開発

【横浜】さがみはら産業創造センター(相模原市緑区、中嶋隆社長、042・770・9119)は、相模原市内の中小企業を主要メンバーにした医工連携プロジェクトを本格化させる。日本大学獣医科学研究所や動物病院経営・ペット用サービス事業を手がけるJPR(相模原市南区)をメンバーに加え、小型犬が骨折した時に体内に埋め込んで補助する器具(インプラント)の2014年3月末までの実用化を急ぐ。その後、JPRを中心にアジア各国での販売や日本の認可を目指す。

さがみはら産業創造センターの医工連携プロジェクトは、同センター(さがみはら産業創造センター)とJPRをメンバーに加え、獣医療現場のリーダーとなり、コバヤシ精密工業(相模原市南区)や不二WPC(同)など相模原市内の13年度は磁気共鳴断層撮影装置(MRI)にインプラントを入れた際の振動を抑えるため、材料であるチタン合金の材質

3月までに日大獣医科学研究所(枝村一弥専任講師)とJPRをメンバーに加え、獣医療現場のリーダーとなり、コバヤシ精密工業(相模原市南区)や不二WPC(同)など相模原市内の13年度は磁気共鳴断層撮影装置(MRI)にインプラントを入れた際の振動を抑えるため、材料であるチタン合金の材質

3月までに日大獣医科学研究所(枝村一弥専任講師)とJPRをメンバーに加え、獣医療現場のリーダーとなり、コバヤシ精密工業(相模原市南区)や不二WPC(同)など相模原市内の13年度は磁気共鳴断層撮影装置(MRI)にインプラントを入れた際の振動を抑えるため、材料であるチタン合金の材質

中小の試作開発支援

板橋区区内商工団体と連携

板橋区産業振興公社 募集開始を受けて、板橋区(東京都板橋区、坂本健 法人会や板橋区中小企業 中)に2回の相談会を開

診断士会と協力して3月 橋産業技術支援センター

準備。2回とも各15社の予約がすくなく、いよいよになったため、相談へのニーズが大きいと見て追加開催する。

相談内容によっては板

名称	所在地	分担
さがみはら産業創造センター	相模原市緑区	全体まとめ
JPR	相模原市南区	獣医療現場の知見提供、販売・マーケティング協力
日本大学	神奈川県藤沢市	獣医療現場での試験や知見提供
コバヤシ精密工業	相模原市南区	精密機械加工
不二WPC	相模原市南区	ショットピーニング、WPC、DLC
日本電子工業	相模原市中央区	プラズマ窒化、DLC
ジャパン・アドバンス・ケミカルズ	相模原市緑区	成膜プロセス、化学材料
SHC設計	神奈川県茅ヶ崎市	医療機器設計
昭和精工	横浜市金沢区	精密機械加工
神奈川県産業技術センター	神奈川県海老名市	評価、試験
八戸工業高専	青森県八戸市	表面工学の知見提供
横浜国立大学	横浜市保土ヶ谷区	材料工学、チタン材料の知見提供
慶応義塾大学	横浜市港北区	表面工学、DLCの知見提供

や地元の金融機関などの経営革新等認定支援機関とも連携して対応する。

同補助金の受付期限が4月15日のため、相談会の実施で「期限の1週間前までに必要な書類を準備

被災地に建設発生土

横浜市 宮城・福島へ提供

【横浜】横浜市は27日、市内の公共工事で発生する残土を東日本大震災被災地である宮城県山元町と福島県新地町に提供すると発表した。両町は復興のための造成工事用盛土として使う。工事で発生した残土の被災地への提供は首都圏の自治体では初めて。8月をめどに輸送を始め、2013年度分として両町に約15万立方メートルを提供する。

13年度の事業費は約6億円の見込み。残土の処分費用は工事費に含まれるため、横浜市側の新たな財政支出はないとしている。横浜港から新地町にある相馬港まで海上輸

かわさき起業家オーディション 3件に優秀賞

【横浜】川崎市と川崎市産業振興財団は「第82回かわさき起業家オーディション」ビジネス・アイデア・シーズ市場」の起業家優秀賞に、ロイヤルブルーティージャパン(川崎市川崎区、吉本桂子社長)の「世界中の航空機ファーストクラスに高級ボトリリンググティール」(高級ノンアルコール飲料)サービスを選定した。同オーディションは川崎市の内外からビジネスアイデアを募り、立ち上げへの支援措置も用意

海を利用し省エネ・災害対策

【横浜】横浜市は27日、横浜八景島(横浜市金沢区)と東京海洋大学が4月から、横浜市内の区のアミューズメント施設「横浜・八景島シーパラダイス」内で海を利用した省エネルギーと災害対策の取り組みを始めることを発表した。同施設は自然の海を利用しており、海水熱を使ったヒートポ